

羽衣石めぐりマップ



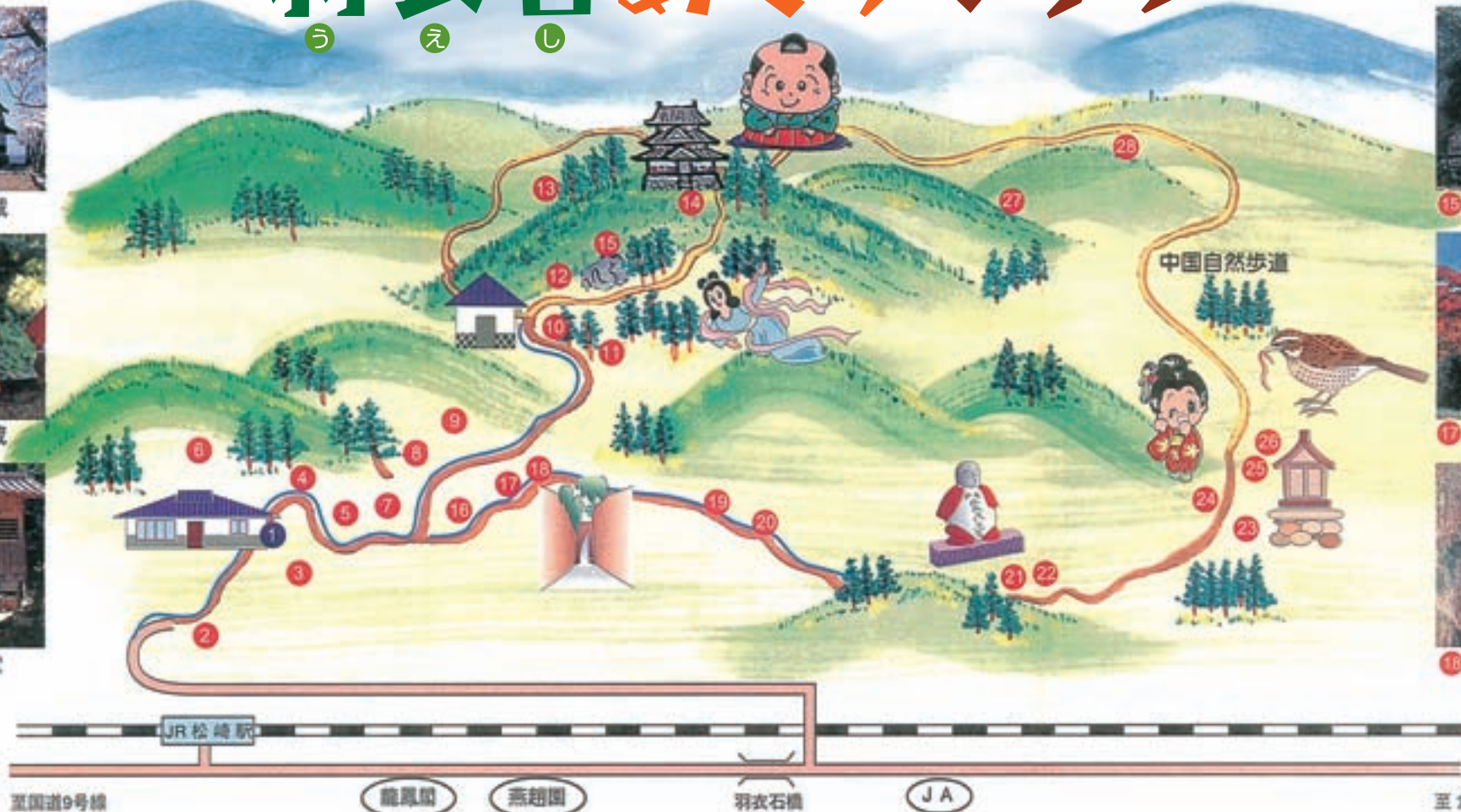
14 羽衣石城



21 鼻達地藏



7 観音堂



15 羽衣石



17 大もみじ



18 鮎返りの滝

① 羽衣石ふれあいの里 (スタート)	(0.0 Km)	⑪ 本谷の八幡神社	(1.3 Km)	⑳ 鼻達地藏	(1.7 Km)
② 長屋の八幡神社	(0.4 Km)	⑫ お茶の水井戸	(1.5 Km)	㉑ 高瀬喜大天の墓	(1.7 Km)
③ 木村要佑の墓	(0.0 Km)	⑬ 天然の壁	(1.5 Km)	㉒ 十万寺跡	(2.4 Km)
④ 大和川の壁	(0.1 Km)	⑭ 羽衣石城	(1.7 Km)	㉓ 薬師如来	(2.4 Km)
⑤ 観音前の鉄山壁	(0.2 Km)	⑮ 羽衣石 (はごろもいわ)	(1.4 Km)	㉔ 秋葉神社	(2.5 Km)
⑥ 景宗寺跡	(0.3 Km)	⑯ 荒神社 (こうじんやしる)	(0.4 Km)	㉕ 大塚社	(2.5 Km)
⑦ 観音堂	(0.2 Km)	⑰ 大もみじ	(0.5 Km)	㉖ 日向ヶ池	(3.4 Km)
⑧ 炭岩 (すみがんま)	(0.3 Km)	⑱ 鮎返りの滝	(0.5 Km)	㉗ ぎゃあーるご水	(4.0 Km)
⑨ 中世壁	(0.5 Km)	⑲ 馬場跡	(1.0 Km)		
⑩ 駐車場・休憩所	(1.2 Km)	㉘ たたら跡	(1.2 Km)		

◆ 羽衣伝説 ◆
むかし、むかし天女が羽衣石山で水遊びをしていたところ、ふもとに住んでいた男が岩の上に脱ぎ置かれた天女の羽衣を持ち帰ってしまった。天女は天に帰ることができず、なかなか男の妻になった。そして二人の子供をもうけるまでになったが、男は妻に羽衣の隠し場所だけはおしえなかった。ある日、妻は二人の子供に羽衣の隠し場所を聞きだし、羽衣を見ると天に帰ってしまったという。悲しんだ姉妹は母が恋しくて山に登り笛と太鼓を吹き鳴らした。それからこの山を打吹山(倉吉)羽衣を掛けた岩を羽衣石(はごろもいわ)と呼ぶようになったと言うことです。

羽衣石城

う え し じょう

栄枯盛衰の歴史を辿った
南条氏 10 代の山城



模擬天守(1990年建造)

所在地：鳥取県東伯郡湯梨浜町羽衣石
築城年：貞治 5 年 (1366)
築城者：南条貞宗
形式：山城
遺構：石垣、堀切、郭跡、模擬天守

【歴史】 羽衣石城は室町時代初期の貞治5年(1366)、足利尊氏に仕えて伯耆国に所領を得た南条貞宗が築城。以後、室町時代を通じて南条氏代々が居城して栄華を誇ったが、戦国の世となった大永4年(1524)南条氏八代宗勝の時、月山富田城を本拠とする尼子経久に攻められて羽衣石城は落城。南条宗勝は家臣とともに山名氏を頼って因幡の地に逃れ、不遇の日々を送った。

南条宗勝を追いやった後、尼子経久は一族の尼子国久を羽衣石城主とし、因幡侵攻の拠点とした。天文9年(1540)南条宗勝は尼子国久が安芸を攻めた隙を突いて羽衣石城奪還を図ったが、またも惨敗。再び因幡に逃げ帰ることになる。

永禄9年(1566)戦国の雄尼子氏が毛利氏によって滅亡すると、ようやく南条宗勝は月山富田城に入った吉川元春(毛利元就の次男)の支援を得て羽衣石城主に返り咲いた。

しかし、宗勝の後を継いだ南条氏九代元統(もとつぐ)は織田信長の毛利攻めの総大将を務める羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)に味方したため、天正7年(1579)吉川元春率いる毛利軍は三方に分かれて羽衣石城を攻撃。このため南条軍は総崩れとなり、城主南条元統は自刃しようとしたが家臣に諫められ、父宗勝と同じく三徳の山を越えて因幡に落ち延びた。

翌天正8年(1580)秀吉軍の加勢を得て南条元統は吉川軍と戦い、羽衣石城を奪回。その後も吉川元春との攻防戦が続くが、天正10年(1582)本能寺の変で信長が倒れると秀吉が急遽備中高松城で毛利側と和睦を結んだため、南条元統は伯耆西三郡を領有し、羽衣石城も安泰となった。

天正19年(1591)南条元統は激動の生涯を終え、子の元忠が家督を継いだ。慶長5年(1600)関ヶ原の合戦で南条元忠は石田三成の西軍に属したため改易となり、羽衣石城も廃城となった。

生き延びた南条元忠は元和元年(1615)大坂の陣に際して豊臣方につき奮戦したが、徳川家康方に内通したとの疑いで大坂城内で切腹させられ、ここに南条氏10代250年の歴史の幕は閉じた。

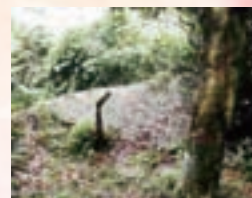
【一口話】 羽衣石城を築いた南条貞宗は塩冶判官(えんやはんがん)高貞の次男で、伯耆に所領を得て南条氏と名乗り、南条氏10代の初代となった。

塩冶判官高貞といえば赤穂浪士事件の芝居を集成した『仮名手本忠臣蔵』では浅野内匠頭のことである。吉良上野介は足利尊氏の執事・高師直で、南条氏の名は歴史から消えても、その祖・塩冶判官は忠臣蔵が演じられる限り忘れられることはないだろう。

【見どころ】 羽衣石城は標高376mの急峻な羽衣石山中に築かれた要害堅固な山城である。山頂部に本丸・二の丸・三の丸を配し、二段の帯曲輪が主郭部を形成していた。この主郭部は良く整備され、本丸跡の敷地はかなり広く、平成2年に三層三階の模擬天守が建てられた。模擬天守の下にはわずかではあるが石垣も残っている。帯曲輪跡には展望台があり、東郷湖など眺望は絶佳。

中腹の駐車場までは車で登ることができる。そこから山頂までは約20分程だが、途中に石垣や曲輪跡群が残っている。

山中に羽衣石という巨大な岩がある。昔、天女が舞い降りて、この大石に羽衣をかけて麓で入浴したという伝説から羽衣石の地名となった。山麓から仰ぎ見る羽衣石城跡は美しい姿を見せ、南条氏10代の有為転変の歴史を物語るかのようだ。



【周辺案内】 倭文神社は伯耆国の一ノ宮。境内に隣接する山中には伯耆一ノ宮経塚がある。古くから倭文神社の祭神である下照姫命の墓と言い伝えられてきたが、大正4年、経塚の中から平安時代初期の銅経筒をはじめ仏像、銅鏡、瑠璃玉など数多くの遺物が発見されて話題を呼び、出土品はすべて国宝に指定された。

東郷町といえば「鶴の湖」の愛称で親しまれている東郷湖が有名。山陰八景の一つに数えられ、東郷湖の畔には東郷温泉があり、湖を眺めながら温泉に浸れば旅の疲れも癒される。



集合場所
JA湯梨浜営農センター

至東郷湖方面（長和田）

バス移動



メイン会場
羽衣石ふれあいの里



花見地域婦人会の山
椿植樹

探索路

山小屋



バス移動



開会式会場
羽衣石城登り口
(駐車場)



探索路



羽衣石城址では郭（くるわ）跡も確認されています。現在は公園として整備され展望台のほか、登山道入口に駐車場、トイレも完備されています。城跡からは湯梨浜町や日本海が一望できます。



羽衣石城



スケジュール

- 9:00** 羽衣石城駐車場にて開会式
(営農センターからバスで移動します)
- 9:20** 羽衣石城まで探索します
- 11:00** 羽衣石城駐車場到着
- 11:05** バスで「羽衣石ふれあいの里」へ移動
- 11:30** 花見地域婦人会の活動説明と椿油の搾油体験
昼食: 婦人会手作りの羽衣石おこわ、
手打ちそば等のまごころメニュー
- 13:00** 花見地域婦人会の山まで探索
- 13:30** 植樹体験
- 14:30** 「羽衣石城ふれあいの里」へ移動
- 15:00** 閉会式
終了後、JA湯梨浜営農センターまでバスで移動します

歴史と里山の椿(羽衣石の物語)

■制作／NPO法人サカズキネット
■資料提供／花見地域婦人会・羽衣石地区公民館・湯梨浜町役場